

Bunkyo..... ごみダイエット通信

第2号
2011/12月



ごみ収集車の車両火災が発生しました!

10月21日(金)に千石でごみ収集車の火災事故が発生しました。原因は使い切っていないライターによるものと思われます。

車両火災が起きると、鎮火作業等に時間と労力がかかり、ごみ収集に大変な支障をきたします。また、およそ800万円もするごみ収集車が使えなくなったり、最悪の場合、人命に関わることもあります。

今後、このような事故が起こらないように、排出ルールをきちんと守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。



ライターの出し方

「不燃ごみの回収日」に、必ず使い切るか、ガス抜きをしてから、他のごみとは混ぜずに中身の見えるビニール袋に入れて、「キケン」と表示して出してください。ガス抜きをする場合は、周囲に火の気がなく風通しの良い屋外で行ってください。



スプレー缶、カセットボンベの出し方

「資源の回収日」に、必ず使い切ってから、キャップやボタン(ノズル)は外して、中身の見えるビニール袋に入れて、飲食料用の缶と同じ青いコンテナに出してください。

共通事項...

やむを得ず使い切れない場合は、「不燃ごみの回収日」に、収集職員へ直接手渡すか、他のごみとは混ぜずに中身の見えるビニール袋に入れて、「キケン」と表示して、出してください。



消火後の車両

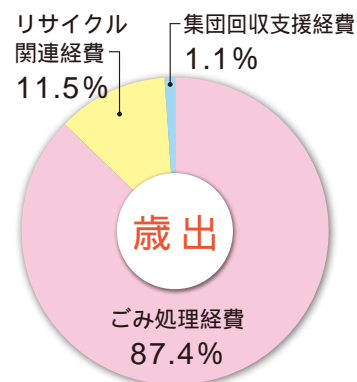


大量に出された
ライター

平成22年度の清掃・リサイクル事業経費をお知らせします

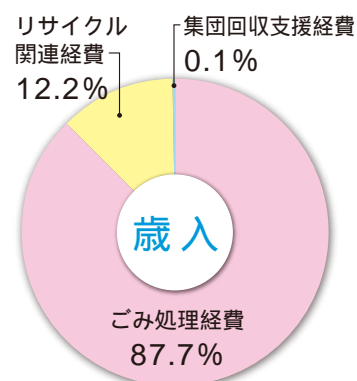
歳出 3,415,187,375円

区 分	経 費 (円)
ごみ処理経費	2,984,996,802
職員人件費	1,115,977,135
清掃事務所管理運営費	39,531,691
ごみ収集運搬経費	690,874,816
ごみ中間処理等分担金	1,016,324,870
有料ごみ処理券事務経費	15,076,861
その他	107,211,429
リサイクル関連経費	391,556,732
資源収集運搬経費	297,246,489
資源化経費	84,350,087
リサイクル啓発経費	3,305,349
その他	6,654,807
集団回収支援経費	38,633,841
実施団体報奨金	36,884,172
その他	1,749,669



歳入 283,619,791円

区 分	経 費 (円)
ごみ処理経費	248,866,857
リサイクル関連経費	34,588,934
集団回収支援経費	164,000



平成22年度 人口及びごみ・資源の回収量

外国人登録を含む平成22年10月1日現在の人口	198,167人
ごみ回収量	45,412t
区収集による資源回収量	7,094t
集団回収による資源回収量	6,105t

経費の算出

区 分	歳出 - 歳入	1tあたりの経費	1人あたりの経費
ごみ処理経費	2,736,129,945円	60,251円	13,807円
リサイクル関連経費	356,967,798円	50,320円	1,801円
集団回収支援経費	38,469,841円	6,301円	194円
合 計	3,131,567,584円	-	15,803円

端数処理の関係で合計値が合わないところがあります。

ごみの減量や分別を進めることで経費を減らしましょう!!

今すぐできるごみ減量

その① 雑がみリサイクル



家庭から排出される可燃ごみに含まれる雑がみ(年間約4千トン)を、すべて資源として集積所に出すと.....年間約**1億6,000万円**の経費削減

$$\text{算出方法} \rightarrow (60,251\text{円} - 19,280\text{円}) \times 4,000\text{t}$$

可燃ごみ減量に伴う減額分(1tあたり)

古紙リサイクルに伴う増額分(1tあたり)

その② 生ごみの水切り

家庭から出る可燃ごみの約4割は生ごみです。生ごみの約7~8割は水分であり、捨てる前に『ぎゅっ』とひと絞りするだけで、ごみ減量に効果があります。



家庭から排出される可燃ごみに含まれる生ごみ(年間約1万トン)の水切りを行い、10%重さを減らすと.....年間約**6,000万円**の経費削減

$$\text{算出方法} \rightarrow 60,251\text{円} \times (10,000\text{t} \times 10\%)$$

削減額はすべて平成22年度のデータをもとに試算しています。

